

岐阜県瑞浪市
明世地区地域計画 2024



はじめに

わたしたちが暮らす地域には、
人口減少や少子高齢化によって様々な課題が生じています。

この地域計画は、全3回のワークショップを通じて
地域をもっと良くしたいという思いを共有しながら
『こんな地域で暮らし続けたい将来像』と
『わたしたち自身に取り組むこと』を話し合い
行動計画として取りまとめたものです。

計画づくりにあたっては

- 自分たちにとってやる気の出る、意味あるものにする
- 人に押し付けて仕事を増やさない
- やりたい人・必要だと思う人を中心に取り組みを考える

これらを重視して話し合いました。

いつか誰かがやってくれるだろう…という活動でなく
まず自分から一歩、動き出せるように
似たような思いの住民がチームとなり計画しました。

今後も、多様な世代で意見を交わす機会をもちながら、
無理なくひとつひとつ活動を続け
より良い地域を共につくっていきましょう。

今、明世地区がかかえる課題や困りごと

自治会離れが深刻

アパートや新築住宅の増加によって明世の人口は増えていますが、自治会への新規加入は少なく、現在の加入率は約40%です。新旧住民間のつながりが薄く、人の入れ替わりも多いため、若い世代のまちづくりへの関心や参加はほとんどありません。ゴミ収集場所の利用についてなどの加入者と未加入者との区別についても課題があります。自治会での役の多さが、加入を躊躇させ、脱会理由にもなっています。

シニア世代と子どもの交流

高齢者団体がなくなってしまう、いきいきサロンに行くための交通手段確保が課題です。人とのコミュニケーションが不足すると、生きがいの低下にもつながります。シニア世代のこれまでの経験や知恵を活かして、子ども世代と相互に良い関わりができるような、活躍の場づくりも求められています。

幅広い年齢層で、意見を交わそう！

これまでつながりが薄かった三区（戸狩、山野内、月吉）ですが、これからは和合町を含む明世地区全体でまちづくりを考えていきたいです。そのためには、幅広い年齢層の人がみんなよく話し合うことが大切です。また、これからを担う若い人たちから話を聞きたい、若い人たちの意見をまちづくりへ活かしたいという思いを伝えていきたいです。明世地区にはコミュニティセンターはありませんが、今ある施設を活用しながら、子どもを核としたまちづくりを進めていきたい。

役員が高齢化、固定化、多役化

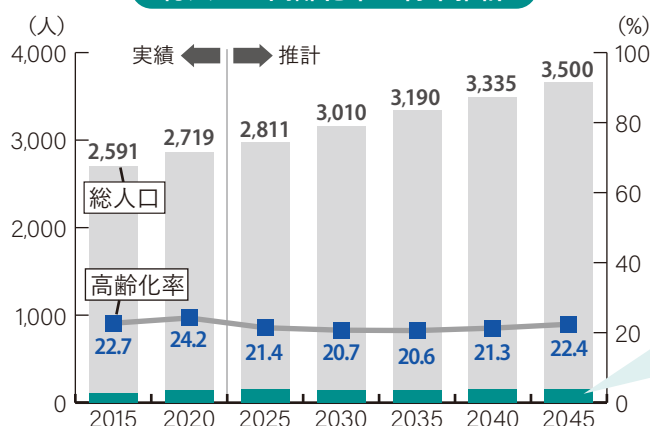
新規加入者が増えないため、役の担い手はどんどん高齢化・固定化しており、1人多役が当たり前になっています。役職が人数よりも多い組もある状態です。役の集約や簡素化をして、無理なく誰でもできる自治活動へ変えていく必要があります。行事は数を減らして、多くの住民が参加できる祭りや防災活動、子どもたちが楽しめることに絞るなど、無理なく参加・活動できる工夫も必要です。

地域の自慢を活かしたい

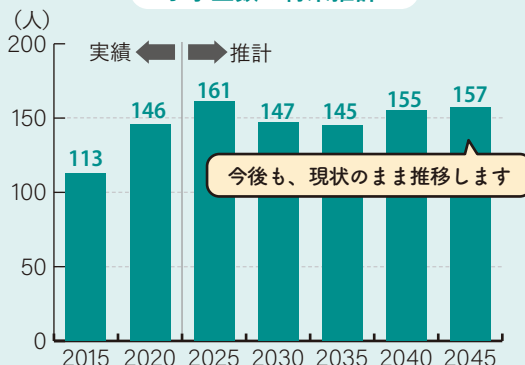
明世地区には、化石、お城や古墳、ホタルの里、農村景色など、後世に伝えたい自然や文化があります。自然も歴史も手を入れなければ消えてしまうため、地元の良さを皆で再認識していきましょう。公園の活用や管理方法の見直し、スポーツ施設を活かした取り組みも行っていけるといいです。

この先、明世地区の人口はどうなる？

総人口と高齢化率の将来推計



小学生数の将来推計



明世地区の将来像

明るく輝く自然・歴史・ふれあいの輪 みんな元気な活力あるまち



これからも大切にしたいこと・あったらいいこと・取り組みたいことなど
参加者それぞれが思い描く「こうあってほしい」明世地区の姿です。

子どもたちの明るい声が心地いいまち
子どもたちがのびのびと遊べる場づくり
子どもの数がもっと増えるといい
子どもたちが狭間川公園で
元気に遊ぶ姿が続いてほしい

子どもが
安心して歩けるまち
子どもたちを皆で見守る

明るく平和で
人口が多くなるまち
住みやすいまち

健康で
生きがいの持てるまち
助け合いを大切に

3区の一体感を持てるように
3地区合同のイベントで交流
近所付き合い、他区とのつながりを
これからも大切にしたい

気軽に集まれる場づくり
市内外から人を呼べるイベント
人々の交流、関わりを大切に

公園の有効活用
様々なイベント、盆踊りなどが
行われる公園であってほしい





田の存続
美しい自然を残す
農村風景を残したい
里山づくり

ボランティア
できる人を育む
狭間川公園の草とりを
みんなでする

ホタルの
育成環境を維持
ホタルの里として
継続を

化石公園内、近辺の
史跡等を整備
歴史や文化の掘り起こし
体育館からお不動までの
散策路の整備

若い人も高齢者も
楽しく生活できるまち
子どもからお年寄りまで
誰もが顔見知りなまち

高齢者の
移動手段確保

高齢世帯が
暮らしやすい
地域づくり

各地区が手を取り合い
地域を良くしようという
考えをもった地域に

地域に暮らす人が地元を好きになる
自分たちの地域は自分たちでつくり、守る

新しいこともどんどん主体的に考え
気軽に取り組む風土をつくる

自治活動の在り方をみんなで考え
みんなで町を良くしたい

自治会加入率を高めたい
若い方々が地元の自治会へ
入りやすい環境づくり
自治会の役の負担軽減



10年後の目標・行動計画・実施体制

 取り組む際の主体（既存組織・団体・有志のグループなど）  協働・協力してほしい相手

下記は、ワークショップで話し合われた目標と、
そのための計画（取り組むこと、取り組めそうなこと、取り組めるといいこと）、実施する際の主体です。
今後、具体的な事業計画や協力体制・実行の仕組みを検討し、地域で必要な事業を行います。

目
標

市民公園を中心に 周辺の自然・文化・歴史を活かした活動や拠点づくり

計
画

・明世地区に活動拠点をつくる準備をはじめ

- －文化施設、史跡、歴史、伝統文化などをマッピングしてSNSで発信
- －市民体育館を活用した子ども向けイベントを実施
- －明世山サーキットコースの再整備

体
制

 チーム明世の宝 SNSチームを募っています
 まちづくり協議会、コミュニティ・スクール、森林組合など

明世に昔からある様々な「宝」をもっと地元の人々で知り、発信し、資源を活かせる取り組みや活かせる人づくりを進めたい。人が集える場、活動拠点として、いずれは明世地区にもコミュニティーセンターが設置されてほしい。多くの仲間と協力する必要がある。得意な人にアドバイスを仰いだり、町の様々な組織と連携して進めたい。

目
標

自治会加入率の低さに向き合い、対策に取り組む

計
画

・話し合いの場を設ける

- －自治会、役の必要性や意義について本音で語り合える場を開催する
- －結論がまとまらなくてもよい場とする

体
制

 現在、不在です
 区長や組長、市役所などと協力

加入率の低さ（現在、約40％）を、なんとかしたい。自治会に入らなくても困らない時代、加入をすれば行事や役があり大変なため新規加入者が増えず、退会も起きている。今後、組織（特に役員）は高齢化していき、負担増への不安や自治会の必要性そのものに疑問がある。加入メリットや魅力向上も大切だが、自治会や役に対しての様々な思いを、一度住民が腹を割って話ができるといい。

目
標

明世地区全体が手を取り、ひとつにまとまる

計
画

・化石採集の子ども向け体験イベントを開催

体
制

 現在、不在です
 まちづくり協議会、コミュニティ・スクール、ボランティアなど

地域の交流づくりから、三区及び和合町のつながりを深めていきたい。明世と言えば化石の町なので、まずは自分たちの町の素晴らしさを知ってもらう活動から始め、徐々に輪を広げていけるといい。小さくスタートして、年に1つずつイベントを増やしたい。



メディアに取り上げられるほど“素敵なお農村!”



・日吉川沿いの環境整備

- －草刈りの実施、草は堆肥化して地域活動の畑へ活用する
- －ホタルの幼虫放流
- －休耕田の活用(田植え・枝豆・ビーツ・芋掘りなど)、地産地消の推進
- －空き家の実態調査
- －植樹(アジサイ・コスモス・キキョウ・桜・ミモザ)
- －野菜の無人販売所



 現在、不在です

 明世小コミュニティ・スクール、区長会、まちづくり

月吉にたくさんある自然資源を活かせる活動を行い、美しい自然を残したい。日吉川がホタルの飛び交う場となり、沿道には若い人にも人気のある「ミモザ」を植えて、日本の南フランスと言われるようなミモザ街道になるといい。いずれは、地域の人がつくる野菜を販売する無人販売所を設置したい。メディアが注目するような農村づくりを通じて、月吉に住んでみたい人の増加を目指す。



子どもから老人まで誰もが顔見知りになれるような交流が自由にできる場所と機会づくり



・狭間川公園の活用

- －盆踊りや防災まつりなどのイベントを開催する
- －朝のラジオ体操や子供会の活動ができる場所にする



 現在、不在です

 まちづくり協議会、各区、長寿会、子供会など

狭間川公園を活用して、子どもからお年寄りまで多世代が交流できる場所になるといい。初めの一步として、イベントを通じて地域の交流を増やしたり、深めていきたい。地域の声を集め、様々な組織と連携しながら取り組めるといい。まずは1つでも行動を起こしてみたい。



つながる喜びのあるまち



- ・草取りボランティア、明世山の整備
- ・「地域先生」として野菜作りなどを学校で指導



 草取りボランティア・山の整備は、コミュニティ・スクールから日程を決めて回覧依頼をしてもらえれば即実施可能

 コミュニティ・スクール、町内会

お年寄りが元気で生きがいを持って暮らしていける地域だといい。子どものためなら頑張れるので、コミュニティ・スクールを活用した取り組みをしていく。外で活動することで、ご近所や子どもたちに顔や名前を覚えてもらう、日頃から挨拶を交わす交流・つながりが持てれば、認知症になっても見守り支え合える環境も期待できる。

地域計画づくりの流れ

第1回 課題や思いを共有し整理しよう

2023/9/4（月）19:00-21:00

2022年度に実施したみずなみ”未来”カフェ、まちづくり講演会ワークショップでの意見を参考に、個々の関心の高いテーマに分かれて課題の深掘りや地域への思いを共有しました。



第2回 地域の将来像を描こう

2023/10/23（月）19:00-21:00

参加者それぞれが思い描く「こうあってほしい」10年後の地域の姿を共有し合い、似た思いの人たちで目標を作成しました。



第3回 行動計画、実施体制を作ろう

2023/11/15（水）19:00-21:00

目標の実現のために、やりたいことや必要だと思うこと、具体的に取り組むこと、実施体制などを考えました。



明世地区地域計画2024

発行年月：令和6年2月

明世地区まちづくり推進協議会

住所：瑞浪市上平町1-1

電話：0572-68-2111（内線375）